

しあわせの里
令和 7 年度 第 5 回運営推進会議録

1. 開催日時 令和 7 年 12 月 19 日（金）16:00～17:00
2. 開催場所 しあわせの里交流スペース
3. 参 加 者
 - （地域住民代表）
 - （地域住民代表）
 - （高齢者福祉課）
 - （あんしん支援センター）
 - （利用者）
 - （管理者）
 - （事務員）

【議題】

1. 運営推進会議を活用した外部評価の実施 について
2. その他
 - ★ 利用者状況及び行事 について

【内容】

当日、委員の皆様と話し合った内容については、別紙の A3 サイズ資料に入力してお示ししております。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none">・3度の食事の副食は近隣の配食業者から仕入れているが「普通食」「ムース食」がある。又、こちらで細かく刻む等、各利用者の機能に合わせた食形態を提供している。・食材の盛り付けや後片付け、膳拭き等の役割を担っていただいている利用者が数名おられ、そのことが食事そのものを楽しむことにつながっている。また、できないところがあれば、職員が常にサポートできるよう配慮している。・事業所敷地内の畑で収穫された野菜等でクッキング企画を定期的に行ったり、おやつ作りを一緒に行っている。旬の野菜を食材とすることで季節を感じていただいている。又、その前段階である野菜作りにも積極的に関与していただいている。・各利用者の機能レベルや相性も踏まえた席の配置にする等、環境面の配慮も行っているながら食事を楽しんでもらっている。・事業所が提供する食事の枠にこだわらず、各利用者の好物を家族に持参いただき提供するように努めている。又、各利用者の嗜好品については、入所時や面会時に情報を得よう努めている。・看取り期についても、ご本人が向くものを向くタイミングで提供する姿勢を最優先している。		A 満場一致	今後も評価に基づき適切な取り組みをお願いします。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none">・利用者にとって食べることが大きな楽しみの一つであることを意識し、過剰な管理は控えている。但し、心臓病や高血糖値等の健康面に問題を抱えている方については、そのことへの配慮を優先したアプローチを心がけている。又、食事、水分の摂取が少ない方についてはご家族に協力していただき、嗜好品を提供する等の工夫もしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none">・誤嚥性肺炎の予防を含め、近年口腔ケアの重要性は高まっており、職員各々がそれを理解している。よほどの個性がない限りは、毎食後の口腔ケア実施を基本としている。・内科の医療機関のみでなく、歯科の医療機関(しまだ歯科矯正歯科)とも「協力医療機関契約」を締結している(特養、老健には歯科衛生士が2名在籍している)。・自立度の高いかたに対しても、必要に応じ、義歯の汚れの確認等の介入を行い歯ブラシの交換時期やその方に合った口腔ケア用品の購入にも配慮している。・義歯使用の利用者については、週1度の義歯洗浄の支援を行うことを基本としている(毎日、義歯洗浄を行うと義歯を傷めるとの観点より、週1度の実施としている)。・義歯の不具合や自歯の不調あれば、ご家族に確認し、歯科受診を行っている。又、必要に応じ義歯の安定剤の持参をご家族に依頼している。		A 満場一致	医療機関の連携もしっかりされています。今後も適切な取り組みをお願いします。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	㊦. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>・特に、新入所しばらくは各利用者の排泄リズムの把握に力を注ぎ、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた取り組みのヒントを得ることに努めている。又、そのためのツールとして「排泄チェック表」を活用している。</p> <p>・おむつやパット類は、職員間の協議のもと各利用者の体の形状や寝られる姿勢、排尿量等を複合的に考慮し選定することで、不快感が軽減するよう取り組んでいる。また、無駄なオムツやパット類の使用がないか都度検討する意識を職員がもっており、経費削減にも努めている。</p> <p>・頻尿傾向にあるかたでも、水分を必要に応じ、積極的に摂っていただいている。その結果のトイレ通いやトイレ誘導が生活リハビリにつながっていることも意識している。またそれが便秘の解消にもつながっている。</p> <p>・尿意の訴えを表現することが困難なかたは、本人の様子(ソワソワと落ち着きがない等)を観察し、タイムリーに誘導できるよう努めている。</p> <p>・便秘がちのかたには、看護職や医療機関と連携し、それぞれに合った下剤の処方等でコントロールを行っている。</p>		A 満場一致	利用者の様子を細かく見ておられると思う。今後も適切な取り組みをお願いします。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>・入浴については週2回と契約時に家族には説明し同意を得ているが、身体的な自立度が高いかたについては、本人のタイミングでゆっくりと入浴していただき、職員は随時声をかける形で支援を行っている(現在19時～20時の間でほぼ毎日入浴されるかたが1名おられる)。また毎日ではないが、お風呂が好きとの事で週3回入浴していただいている方もおられる。</p> <p>但し、重介護利用者の入浴介助については浴室にこもってケアを提供する必要性があり、人員体制の厚い日中での実施という制限あるため、自己評価をBとした。</p>			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	㊦. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>・ご本人の意思や行動を見ながら支援を行っている。リビングで興味のある余暇活動を行いながら過ごされる方、お部屋でゆっくりされる方等、その方の希望や状態に沿った対応をしている。</p>			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	㊦. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>・服薬時は、細心の注意を払い飲み込みまで確認するよう徹底している。各利用者それぞれに合った服薬方法を行っている。</p> <p>・主治医や薬剤師と相談し、錠剤が飲みにくいかたは粉剤に変更したり、微粒子の粉剤で飲みにくい場合などは水に溶かしとろみをつけたり等、工夫を行い、確実に服用していただくよう努めている。</p>		A 満場一致	飲み込み迄確認されるのは素晴らしいことだと思います。今後も引き続きよろしく願います。

				<p>・排泄面に関する薬(下剤や利尿剤等)についても、各利用者の排泄の状況をしっかり観察することで主治医に相談をかけたり、当事業所でコントロールを行っている。又、当事業所看護師との連携のもと、定期薬の下剤であっても排便状況(出過ぎた場合等)によっては服用を中止している。</p> <p>・当事業所看護師と各利用者の担当職員が中心となり、服用しておられる薬について認識の共有が図れるよう心がけている。又、薬の保管場所からリビングに薬を出す際には複数の職員で内容に間違いがないかをダブルチェックしている。</p>			
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<p>①. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・複数の利用者は、敷地内を散策(散歩)したり、畑の草取り、畑の野菜の生育の様子を見たりして気分転換している。</p> <p>・事業所畑で収穫した野菜等を利用し実施するクッキング企画において、主導的に調理を担うことを張り合いとしている利用者あり。</p> <p>・洗濯や洗濯物干し及び洗濯物たたみもできる範囲で関わってもらっている。</p> <p>・繕い物、塗り絵、写真の整理など各自の趣味に合わせた余暇活動を行っている。</p> <p>・日常的に提供する食事に加え、好物をご家族に持参いただいている方もいる。ある程度の摂取量の調整は配慮しつつも、食を楽しんでいただいている。</p> <p>・今は亡き家族の位牌に手を合わすことができるよう、居室の環境設定を行っている。</p> <p>・利用者は生活歴や好みが一人ひとり異なることを大前提に個別的な視点で支援するよう心がけている。一人ひとりのできることをやっていただくよう心掛けている。</p>	<p>■■■■(高齢者福祉課)</p> <p>それぞれの思考に合わせた取り組みはいいと思います。</p> <p>■■■■(地域住民代表)</p> <p>聞き取りのできない利用者もいると思いますが、どうされていますか。</p> <p>ホーム長</p> <p>本人からの要望が聞き取りにくい場合は家族からの聞き取りもしています。</p>		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<p>①. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・敷地内の屋外に出て散策できる身体機能があるかたはもちろんのこと、身体機能や意思の疎通の力が低下したかたにも声をかけ積極的に外に出る機会を確保している。</p> <p>・自宅の様子を気にされる方に対しては、家族に了解を取り、実際に出向いて確認していただくよう支援している(ドライブ外出のついでに自宅近くの様子をみていただくこともある)。</p> <p>・帰宅願望から屋外へ向け歩き出された際には、それを止めるような対応ばかりではなく、場合によっては職員がその思いを汲み取り、可能な限り寄り添う対応を心がけている。</p> <p>【補足説明】</p> <p>春はドライブ外出を中心に取り組んだ。家族からの要望もあり自宅への外出(一時帰宅)支援も継続して行っている。外泊についても検討する。</p>	<p>■■■■(あんしん支援センター)</p> <p>帰宅願望のある利用者を止めるのは難しいことです。認知症などがあると余計に大変だと思います。外の空気を感じるなど気分転換はいいと思います。</p> <p>■■■■(地域住民代表)</p> <p>帰宅願望のある利用者は何名くらいおられますか。多いと大変ですね。</p> <p>ホーム長</p> <p>今は1名ですが、職員の数も限られているので、多いと大変です。</p>		

37	お金の所持や 使うことの支援	職員は、本人がお金を持つ ことの大切さを理解してお り、一人ひとりの希望や力 に応じて、お金を所持した り使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お金を所持し使うことが、社会の一員であることを実感できる機会となることを理解し てはいるものの、現金や貴重品を所持することは原則控えていただいている（利用者 同士の金銭や貴重品の受け渡しで発生するトラブル防止のため）。希望の物があれば 家族へ連絡し持参していただくようにしている。 本人がお金を所持したり使えるようにはなっていないのでC評価とした。			
38	電話や手紙の 支援	家族や大切な人に本人自 らが電話をしたり、手紙の やり取りができるように支 援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言語的なコミュニケーションをとることが可能な利用者には、電話にてご家族と会話 ができる機会を確保及び推奨している。手紙についても、それが可能なかたには大切 な人との手紙のやり取りを継続して行えるよう支援している。又、自らが手紙を書くこと が困難になったかたについても、家族と協力してやり取りができるよう支援している。			
39	居心地のよい 共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身 体機能やわかる力を活かし て、安全かつできるだけ自 立した生活が送れるように 工夫している。共用の空間 が、利用者にとって不快や 混乱をまねくような刺激が ないように配慮し、生活感 や季節感を採り入れて、一 人ひとりが居心地よく過ご せるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・独歩でリビング内を移動されるかたに対し、そのかたの日常的な行動と動線を把握 し、障害やリスクとなる物を排除するよう努めている。 ・事業所敷地内の畑を貴重な共用空間と位置づけ、興味のあるかたについては可能 な限り農作業に関わっていただき、生活感、季節感を味わっていただいている（その時 期に合った野菜作り）。 ・リビングには、既成のカレンダーではなく、手作りカレンダー並びに日めくりカレンダー を設置し、生活感ある空間づくりを意識している。 ・玄関先にはプランターに花を植えるなど、季節感と楽しさを味わっていただくよう努め ている。 ・リビング内及び玄関付近などに、活動や行事の一枚写真を飾っている。利 用者のかたも思い思いに鑑賞され、満足感を得ている。 ・認知症のかたは、環境の変化に敏感であることが多いため、なるべく入所前に暮らし ていたような住環境を整えることで心地よく過ごしていただくよう配慮している。 ・居室内も利用者一人ひとりの能力に合わせたセンサー（人感センサーかセンサーマット）等を 設置することで、安全に自立した生活が送られるよう努めている。		A 満場一致	畑やプランターと一緒に管理されていること はいいことです。今後も続けてお願いしま す。